

声を出してみる

不定期にもかかわらず、常連さんも増えた「声を出して元気になる」。初心者歓迎。お誘いあわせてご参加ください。声を出して元気になりませんか！

日時 3月24日(木曜日) 午後1時30分から3時まで
会場 松岩寺 (本石1-102)
会費 五百円(当日、納めてください)
指導 加藤純子

※ お求めいただいた冊子『愛唱名歌』をご持参ください。お持ちでない方は、当日お求めください。(一冊千円)
前日までに左記へ電話・FAX・Eメールで申し込んでください。

声を出して元気になる

3月24日 木曜日 PM1:30 ~ 3:00



【申込先】 松岩寺

TEL 048(522) 1812
FAX 048(522) 9189
Eメール chief@shoganji.or.jp

編集後記

方便について考える

○この原稿を書いているのは二月二十日です。世の移ろいは速いで、拙い文章がお手許に届く頃には忘れ去られているかもしれませんが、どなたかが不用意に口にしたり「方便」という言葉が新聞やテレビ画面を踊っています。「方便」の意味について日経新聞2月21日朝刊「春秋」欄が仏教説話を引用して次のように論じていました。【略】子供を亡くした「ゴータミー」は、我が子の突然の死を受け入れることができない。釈迦はいう。「葬式を出したことがない家からケシの実をもらってきたなら、子供を治してあげよう」女性は探し回りやがて、そんな家はないと気がつく。生老病死は避けられない運命だと悟り、多くの人が苦しい運命に耐えて生きていることにも思い至る。切なく胸にしみる物語であり、死者をよみがえらせる奇跡はない、という厳しい教えも伝わってくる。▼釈迦は女性に嘘をついたのだろうか。それを説明する仏教用語が「方便」である。「悟りに近づく方法」といった意味だ。【後略】

○この説話はよく知られた物語です。でも、私自身はこれまで皆さんに話したことも書いたこともほとんどなかった。だって、救がないじゃないですか。乳飲み子を亡くした母親にこんなこと言わなくても、もうすこし別の方便があるのではないか、お釈迦さまもあんまりだ。と思っていたから。

○でも、この話は生老病死の苦を説いているのではない、と少し前に気がつきました。つまり、ゴータミーが釈尊を訪れるのは早朝です。そして、街の一軒一軒を尋ねます。優しく教えてくれる人もいるだろ。う。う。と怒鳴る人もいたでしょう。何百人もの人に聞いて、夕方になってわかる。おそらく、ゴータミーは同じ時間泣きあかしてもわからなかった解答を、色々な人に聞いて助けられ、時にはそしられたまされ、一日中歩いて、修行してわかるんですね。この説話は、苦を教えているのではなく、苦から救われるための行(ぎょう)の大切さを説いているのではないか。少し前にそう気がついた私です。

(住職・花岡博芳記)

チェンバロ【cembalo】？

鍵盤楽器。グランド・ピアノに似た外形を取り、鍵を押すと羽軸または堅皮の爪(プレクトラム)が弦を弾(はじ)いて音を発する。16世紀に考案、19世紀以降用いられなくなったが、20世紀に古楽演奏用に復活。イタリア語・ドイツ語ではチェンバロ・クラヴィチェンバロ、フランス語ではクラヴサン。(広辞苑 第六版)より

「うちにあるチェンバロは、お寺の本堂におくのがいちばん似合うかも」

そうおっしゃって、少し痛んでいたヨーロッパの古楽器を完全に修理して、ご寄付くださったのは総代の佐藤憲史さん。そのチェンバロのお披露目コンサートです。

ぷろふいーる

寺村朋子 (チェンバロ/スピネット)

東京芸術大学チェンバロ科卒業。同大学大学院修士課程修了。チェンバロと通奏低音を、山田貢、鈴木雅明の両氏に師事。第7回古楽コンクール・チェンバロ部門第2位入賞。イタリア、オーストリー、ベルギーなど国内外のアカデミーに参加し研鑽を積む。NHK「FMリサイタル」出演、その他多くの団体と様々な演奏活動を行う。2010年ワオンレコードよりチェンバロ・ソロCD「お気に召すまま Capriccio」(レコード芸術準推薦)をリリース。

木島千夏 (ソプラノ)

国立音楽大学在学中に古楽に出会い、卒業後しばらくバロックのオペラを初め様々なコンサート活動を経験した後、ロンドンに留学。第30回ブルージュ国際古楽コンクールにて4位入賞。ヨーロッパ各地で音楽祭や演奏会に出演。帰国後はバロックを中心に、グレゴリオ聖歌から現代曲まで幅広いレパートリーに取り組み演奏活動を行っている。

上田美佐子 (バロック・ヴァイオリン)

武蔵野音楽大学器楽学科(ビオラ科)修了。磯良男、ウルリッヒ・コッホ各氏に師事。バロックを若松夏美、寺神戸亮、Stefano Montanari 各氏に師事。MOG、MAT、アンサンブル・雲水、アントルメ、ジョングルール・ボンミュージシャンのメンバー。ヴァイオリン、ヴィオラ、中世フィドル奏者として活動中

彼岸法要

ちえんばろ

を

3月20日(日)午前11時~

